

9. 公儀触関係全国御用留・触留調査

山田 洋一

1. 調査の経緯と概要

科研費基盤研究(C)「公儀触による両領国（徳川・国持外様）体制の最終検証と触研究への情報提供あり方研究」の資料とするため、公儀触が記載される全国各地の御用留・触留の調査と収集（撮影等）を2025年度まで行う予定で、本年度は、東日本の資料保存機関を中心に実施した。

2. 調査成果と今後の予定

調査成果は表1のとおりであった。来年度は西日本を中心に行う予定である。

表1 公儀触関係全国御用留・触留調査成果 2023年

調査年月日	調査先	調査資料（点数）
5月10～13日	佐倉市史編さん室	堀田家文書（39）
6月5・7日	もりおか歴史文化館	（盛岡）南部家文書等（11）
6月8・9日	八戸市立図書館	（八戸）南部家文書等（33）
6月11日	佐倉市史編さん室	堀田家文書（10）
6月26日	宮古市史編さん室	（画像）金沢家文書（12）
6月27～29日	山口県文書館	毛利家文書（13）
6月30日・7月1日	宮本常一記念館	永田家文書等（6）
7月2日	岡山県立記録資料館	（MF）池田家文書（1）
7月18日	岐阜県歴史資料館	飛騨郡代高山陣屋文書等（19）
7月19～20日	飛騨高山まちの博物館	高山町会所文書（15）
8月21日	千葉県文書館	富里市根本名 石井家文書等（14）
8月22～24日	佐倉市史編さん室	堀田家文書等（19）
9月2日	大仙市アーカイブズ	（画像）池田孫左衛門家文書（親郷役所日記）等（11）
9月19日	愛知県公文書館	（画像）県史収集資料鈴湊資料館蔵盛田家文書等（9）
9月20日	飛騨高山まちの博物館	角竹郷土史料文庫（31）
10月1～2日	秋田県公文書館	秋田県庁旧蔵古文書等（50）
10月3日	弘前市立弘前図書館	津軽家文書等（21）
10月5日	八戸市博物館	西町屋文書（6）
10月5～6日	八戸市立図書館	（八戸）南部家文書（5）
11月7日	柳沢文庫	虚白堂年録等（9）
11月27日	愛知県公文書館	県史収集資料新城市榊原淳一郎氏収集資料等（2）
11月28日	山形県立博物館	長井政太郎収集資料等（5）
11月28～29日	山形大学中央図書館	北口村文書等（14）
11月29日～12月1日	山形大学附属博物館	三浦文庫文書等（40）
12月15日	柳沢文庫	公儀御触書写（12）

編集後記

フィールド集報の組版作業は、歴史学科文化遺産学コースの考古・建築・地理・文化情報の合同実習メニューとして学生が Adobe 社の InDesign を利用しておこなっている。

今年度は、3年ぶりに多様な場所・フィールドで調査をおこなうことができた。調査時だけでなくその後の作業においても多くの方々からご協力を賜った。ここに改めてお礼申し上げる。

海外の調査も徐々にではあるが再開されるようになった。来年度はまた違うところに行きたいと思う今日この頃である。(き)

京都府立大学文学部歴史学科

フィールド調査集報 第10号

編集・発行 京都府立大学文学部歴史学科

〒606-8522 京都市左京区下鴨半木町 1-5

発行日 2024年3月30日

印刷 株式会社 北斗プリント社

〒606-8540 京都市左京区下鴨高木町 38-2
